

# 研 修 会 報 告

厚生委員会

平成6年11月21日(月)に仙台国際ホテルに於て講師に田中 茂氏をお迎えして、

“大空のロマンと安全”

と言う演題で講演をお願い致しました。

田中 茂氏の略歴は、昭和9年静岡県生まれで、昭和30年に公募空士第一期生として航空自衛隊に入隊され、その後、指揮官、幕僚を歴任され、昭和63年に二等空佐で退官される迄、33年間に亘り、小松、入間、松島の各基地にて主にパイロットの育成に尽力され、飛行時間は4,445時間に及ぶ記録を持って居られる方です。

講演は、

1. パイロットの教育について
2. 大空のロマンとドラマ
3. 生と死の狭間
4. 事故と人間の本質
5. 事故防止は如何に図るべきか

について進められ、事故の原因として、

1. 人 (man)
2. 機械 (machine)
3. 情報 (media)
4. マネージメント (management)

の四要素から分析され、又事故防止については、“教訓を風化させない事”が要諦であると締めくくり、妥協と甘えを許さない厳しい職場での経験を交えた講演は参加者に深い感銘を与えて呉れました。

特に音速を越える飛行機の操縦には、寸時のミスも許されず、咄嗟の判断で何回も危機を乗り越えてこられたお話は、その長い経験と人柄にうらづけられた強い説得力を持ち、我々現場を持つ職場の人間として大変に示唆に富んだ内容で、改めて安全についての認識をさせられ、有意義な研修会とする事が出来ました。

普段の講演会では少しは眠気を催すものですが、誰一人として眠る人も無く、話に引きずり込む独得の話し術を持たれた方で、まだ話のネタは沢山お有りとの事で、アンコールの声も有りますので、機会が有れば第二部をと考えて居ります。

御多忙にもかかわらず、多数の会員、会社の方々の御出席を賜り、御協力に感謝申し上げます。

追伸

後日談ですが、講演会に出席されたある会社の幹部が、内容に感銘しお礼にと、お礼状にお酒を添えて贈った折、何と1m以上に及ぶ巻紙に毛筆で、返礼を頂戴したと恐縮して話して呉れました。